



広報

まちなか



市民の友

第783号毎月1回発行
2016年(平成28年)

4月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2016(平成28)年2月末現在	
総人口	324,217 (3,620)
男	157,292 (2,089)
女	166,925 (1,531)
世帯数	147,419 (2,444)

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷



まちなかに暮らす

国際通り一帯のまちなか区域は、これまで商業の核としての役割を果たしてきましたが、子育て世帯の郊外への流出などにより、近年では人口減少が続いています。

それでも、まちなかは、公共施設や商業施設、公共交通などがコンパクトにまとまっていて、実は生活するのに便利。

最近、空き家をリノベーション(大規模改修)し、魅力ある物件として再生させる試みが行われ、まちなかにしかない良さを求め、移り住む人もいます。少しずつ注目されてきています。

古き良きマチグー文化を感じながら、まちなか生活、始めませんか。



写真提供：不動産会社Bさん

国際通りの裏手に、築41年の建物をリノベーションしたお部屋があります。近所には人気の飲食店が立ち並び、場所ですが、2階以上は住宅がほとんどのためとても静か。

築41年でも こんなにお洒落に

猫と一緒に暮らせるように壁にキャットウォークを設けたワンルームは、間接照明がゆとりある空間を演出してくれます。モニター付きドアフォンで、ひとり暮らしでも安心です。

市の人口は増加傾向にあるものの、まちなか区域では、居住人口は緩やかに減少しています。
また、市では約6割の世帯が賃貸物件に住んでいると言われています。が、空き家率は10.8%(平成25年度住宅・土地統計調査)で、まちなか区域では築20年以上の建物で空き家が目立っています。
人口減少に伴う少子化や地域コミュニティの希薄化、保安面など、まちなかの抱える様々な問題が深刻化する前に、だれもが快適に住み続けられる環境づくりが求められています。その一つとして注目されているのが、空き家のリノベーションです。

人口増で 快適な居住環境に

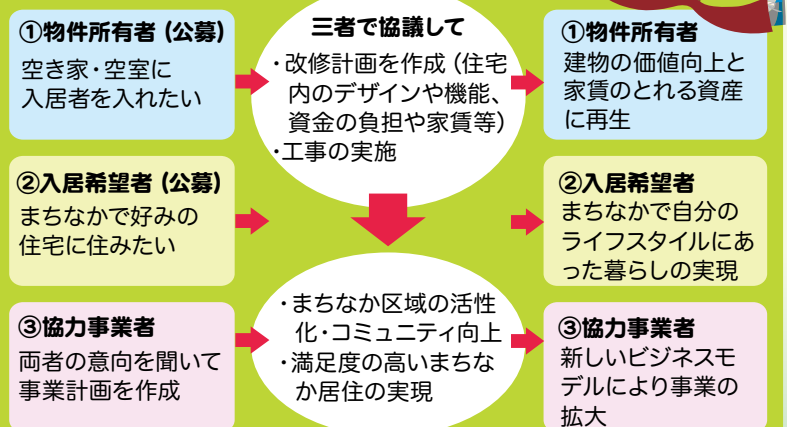
まちなか区域

- 久茂地1・3丁目
- 泉崎1丁目
- 松尾1・2丁目
- 壺屋1丁目
- 牧志1～3丁目
- 安里1・2丁目
- 樋川2丁目
- 字安里の一部
- 字大道の一部



市では、空き家を活用したまちなか居住、『住宅ストック活用モデル事業』を行っています。
同事業では、「物件所有者」と「入居希望者」を市が募集し、両方の意向を聞きながら、施工対象や範囲、施工時期、入居期間、改修費の負担割合、家賃など、リノベーション計画の作成を支援します。
「市と協力事業者」が入ってサポートするため、物件所有者も入居希望者も安心してリノベーションを進めることができます。
平成28年度は6月頃から募集を開始する予定です。

ニーズにあった空間 づくり応援します！



お問い合わせ

建設企画課

☎951-3235

主な紙面

- まちなかに暮らす
- 「チャー」がんにゅう体操教室」参加者募集/その他
- 高齢者向け臨時福祉給付金/その他
- MECAL 4-5
- 情報バック
- 博物館トピックス/ニュースダイジェスト

5 7 4 3 2 1
8



畑井モト子 さん(通称:はち)
出身地:奈良
まちなか居住歴6年
犬猫殺処分ゼロを目指す団体
TSUNAGU OKINAWAの代表

住みたい!

ライフスタイルにぴったり

マチグーを散歩すると、スーヅグー(路地)の奥で今まで気づかなかったお店に出会うなど、新たな発見があるんですよ。お店の人とゆんたくしたり、普段から楽しみながら生活できるんじゃないかと期待しています。



前原信之 さん
「職場に近く、モノレールで移動できるのも魅力」と、まちなか生活を検討中

住んでます! 自分を再発見

マチグーに住む理由は交通に便利だから。商店街のみんなから「はち!ごはん食べたか?」なんて家族のように声をかけてくれ、とても気持ちがあたたくなります(笑)。だからこの街のために何か恩返しできればと考えています。以前の自分には考えられないほど積極的な自分にマチグーが育ててくれました。